

形成外科

1 構成員

	平成20年3月31日現在
教授	0人
准教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助教（うち病院籍）	1人（1人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	2人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	4人

2 教員の異動状況

深水 秀一（准教授）（H19. 2. 1～19. 3. 31 助教授；19. 4. 1～現職）

藤原 雅雄（助教）（H19. 4. 1～現職）

鈴木 綾乃（医員）（H19. 4. 1～現職）

水上 高秀（医員）（H19. 4. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成19年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4編（0編）
そのインパクトファクターの合計	3.06
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1編（1編）
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1編（1編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	2編（0編）
そのインパクトファクターの合計	1.794

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Fujiwara M, Yamamoto T, Kawakatsu M: The six V-flap technique for preputial stenosis. J Plast Reconstr Aesthet Surg 61(2):214-217, 2008.
2. Fujiwara M, Ito R, Fukamizu H: Bipedicle flap reconstruction for complex longitudinal dorsal tissue defects of the digits. Hand Surg 12(3):191-197, 2007

インパクトファクターの小計 [1.182]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Arakawa A, Fukamizu H, Hashizume I, Kasamatsu N, Nagayoshi M, Shinozuka N, Yasuda T, Takachika O: Macroscopic and histological findings in the healing process of inhalation injury. Burns 33(7):855-859, 2007.
2. Ito R, Fujiwara M, Nagasako R: Hard palate mucoperiosteal graft for posterior lamellar reconstruction of the upper eyelid: histologic rationale. J Craniofac Surg. 18(3):684-690, 2007

インパクトファクターの小計 [1.878]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 深水秀一, 八木宏明: リンパ造血系腫瘍: 菌状息肉腫, Sezary症候群, 成人T細胞白血病. 形成外科 50(10):1165-1175, 2007

インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 深水秀一: 熱傷後の瘢痕癌. 戸倉新樹, 宮地良樹, 瀧川雅浩編, 皮膚科診療プラクティス20. Environmental Dermatology, 文光堂, 東京, 217-219, 2007.

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Suzuki A, Fujiwara M, Mizukami T, Fukamizu H: Delayed distally based super sural flap: Evaluation by indocyanine green fluorescence angiography. J Plast Reconstr Aesthet Surg 61(4):467-469, 2008

インパクトファクターの小計 [1.182]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Ito R, Fujiwara M, Takagaki K, Nagasako R: Chondrolipoma of the toe. J Dermatol. 34(8):570-572, 2007.

インパクトファクターの小計 [0.612]

4 特許等の出願状況

	平成19年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成19年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	4件 (160万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	4件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	1件
(6) 一般演題発表数	0件	

(2) 国内学会の開催・参加

3) シンポジウム発表

深水秀一：形成外科領域におけるPDEの有効性，第69回日本臨床外科学会総会スポンサーード
シンポジウム，2007年11月，横浜

4) 座長をした学会名

第114回遠江医学会，第42回日本形成外科学会中部地方会，第88回日本皮膚科学会静岡地方
会，第50回日本形成外科学会中部支部東海地方会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

深水秀一 日本形成外科学会評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成19年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成19年度
産学共同研究	0件

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. インドシアニングリーン (Indocyanine green) を用いた皮膚の血行動態の評価
2. 皮膚悪性腫瘍におけるインドシアニンググリーン (Indocyanine green) を用いたセンチネルリンパ節 (sentinel lymph nodes) の同定と評価

上記について論文発表および学会発表を行った。